

平成 27 年 5 月 19 日  
独立行政法人国際協力機構

JICA ボランティア派遣前研修実施業務に係る業務の実施状況について（25～26 年度分）

## 1. 事業の概要等

### （1）委託業務内容

独立行政法人国際協力機構（以下、「機構」という。）が実施する青年海外協力隊及びシニア海外ボランティア派遣予定者（以下、「受講者」という。）に対する合同研修及び技術補完研修に関する業務。

### （2）事業実施期間

平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（3 年間）

### （3）受託した民間事業者

公益社団法人青年海外協力協会（3 者応札による）

## 2. 確保すべき質の達成状況及び評価

本件業務の 2 区分である（1）合同研修及び（2）技術補完研修に分けて記載する。

### （1）合同研修

平成 25～26 年度に合同研修の受講者数は下表のとおり、25 年度は合計 279 名、26 年度は合計 234 名であった。

平成 25 年度 (開始日-終了日)	第 1 回 (5/27-6/1)	第 2 回 (9/2-9/7)	第 3 回 (11/25-11/30)	第 4 回 (2/24-3/1)	合計
受講者数	64 人	35 人	89 人	91 人	279 人

平成 26 年度 (開始日-終了日)	第 1 回 (6/2-6/7)	第 2 回 (9/1-9/5)	第 3 回 (12/1-12/5)	第 4 回 (2/23-2/27)	合計
受講者数	69 人	40 人	56 人	69 人	234 人

合同研修の実施に当たり、確保されるべきサービスの質の要求水準指標の項目は、1) スタッフ（民間事業者）の対応、2) 講座の評価、3) 受講者の能力向上、4) 受講者の安全衛生、5) 業務継続の確保の 5 項目。

基本的な評価方法は、受講者を対象としたアンケート調査及び講座理解度テストを用い、評価結果に対して、実施要項及び契約書で機構が設定した「要求水準値」と比較する。要求水準値の達成状況は以下のとおり。

### 1) スタッフ（民間事業者）の対応

スタッフ（民間事業者）の対応が適切だったかの観点から、「適切だった」、「概ね適切だった」、「あまり適切ではなかった」、「全く適切でなかった」の 4 段階で、80%以上の受講者が

ら「適切だった」、「概ね適切だった」の評価を得ることを要求水準として設定している。  
 評価結果は以下のとおりであり、要求水準を満たしている。

#### 平成 25 年度の評価結果

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
98.5% (100%)	100% (100%)	98.0% (100%)	96.8% (100%)	<b>98.0%</b>

年度平均値は単純平均ではなく加重平均で計算。以下同様。

( )内は回収率。以下同様。

#### 平成 26 年度の評価結果

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
100% (98.7%)	97.8% (100%)	100% (100%)	100% (98.4%)	<b>99.6%</b>

## 2) 講座の評価

派遣前研修は、「活動手法」、「健康管理・安全管理」、「社会的多様性理解・活用力」、「各種オリエンテーション」の4つのコースから構成され、コースは最小単位である講座から構成されている。機構が直接講師を務める講座、民間事業者が講師を務める又は講師を選定し実施する講座に二分される。

民間事業者が、講師（講座の進行役や講座の取りまとめ役を務める場合も含む）を選定して実施した講座若しくは直接講師（講座の進行役や講座の取りまとめを務める場合を含む）を務めて実施した講座のアンケートをコースごとに集計し、A～D（A:大変良かった、B:良かった、C:あまり良くなかった、D:全然良くなかった）の4段階で、80%以上の受講者からA若しくはBの評価を得ることを要求水準として設定している。

民間事業者が実施する講座及びそれら講座を含む2つのコース「健康管理・安全管理」、「社会的多様性理解・活用力」ごとの集計結果は下記のとおり、全てのコースにおいて要求水準（80%）を達成している。

#### 平成 25 年度

##### 健康管理・安全管理コースにおける講座の評価結果

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
99.9% (100%)	98.5% (100%)	98.5% (100%)	98.5% (100%)	<b>98.9%</b>

##### 社会的多様性理解・活用力コースにおける講座の評価結果

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
91.8% (100%)	90.4% (100%)	88.0% (100%)	92.8% (100%)	<b>90.7%</b>

平成 26 年度

健康管理・安全管理コースにおける講座の評価結果

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
100% (100%)	100% (100%)	99.2% (100%)	100% (100%)	<b>99.8%</b>

社会的多様性理解・活用力コースにおける講座の評価結果

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
95.4% (100%)	97.0% (100%)	96.1% (100%)	92.9% (100%)	<b>95.4%</b>

3) 受講者の能力向上

95%以上の受講者の能力が強化され、ボランティアとしての適性が向上し、合同研修の所期の目的を達成し、研修を終了することを要求水準として設定している。

受講者には、講座テスト（優、良、可、不可）及び講座レポート（優、良、可、不可）を実施しているが、評価結果は以下のとおりであり、要求水準を満たしている。

平成 25 年度

健康管理・安全管理コース

テストの結果

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
95.7	4.3	97.9	2.1	97.4	2.6	100	0	<b>97.5</b>	<b>2.5</b>

テストが不可の者も最終的にはレポート提出では全員可以上となっている。

レポートの評価

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
100	0	100	0	100	0	100	0	<b>100</b>	<b>0</b>

レポートが可(1次隊4.3%、2次隊4.2%、3次隊5.3%、4次隊14.7%)の者は学力向上のため全員再提出。

社会的多様性理解・活用力コース

テストの結果

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
96.8	3.2	95.8	4.2	95.6	4.4	95.6	4.4	<b>96.0</b>	<b>4.0</b>

テストが不可の者も最終的にはレポート提出で全員可以上となっている。

レポートの評価

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
100	0	100	0	100	0	100	0	<b>100</b>	<b>0</b>

レポートが可(1次隊4.3%、2次隊4.2%、3次隊5.3%、4次隊14.7%)の者は学力向上のため全員再提出。

平成 26 年度

健康管理・安全管理コース

テストの結果

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
98.0	2.0	100	0	97.7	2.3	100	0	98.6	1.4

テストが不可の者も最終的にはレポート提出では全員可以上となっている。

レポートの評価結果

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
100	0	100	0	100	0	100	0	100	0

レポートが可(1次隊4.3%、2次隊4.2%、3次隊5.3%、4次隊14.7%)の者は学力向上のため全員再提出。

社会的多様性理解・活用力コース

テストの結果

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
95.1	4.9	98.0	2.0	98.8	1.2	100	0	97.5	2.5

テストが不可の者も最終的にはレポート提出では全員可以上となっている。

レポートの評価結果

(%)

第 1 回		第 2 回		第 3 回		第 4 回		年度平均	
優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可	優・良・可	不可
100	0	100	0	100	0	100	0	100	0

レポートが可(1次隊4.3%、2次隊4.2%、3次隊5.3%、4次隊14.7%)の者は学力向上のため全員再提出。

#### 4) 受講者の安全衛生

本業務に起因する傷病等は発生しなかった。

#### 5) 業務継続の確保

本業務の不備に起因する業務の遅延等は無かった。

#### (2) 技術補完研修

平成 25～26 年度に技術補完研修の受講者数は下表のとおり、25 年度は合計 492 人、26 年度は合計 796 人であった。

受講者数	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
平成 25 年度	127 人	71 人	146 人	148 人	492 人
平成 26 年度	195 人	235 人	193 人	173 人	796 人

技術補完研修の実施に当たり、確保されるべきサービスの質の要求水準指標の項目は、1) 民間事業者の対応、2) 技術補完研修の評価、3) 受講者の能力向上、4) 受講者の安全衛生、5) 業務継続の確保の5項目である。

基本的な評価方法は、研修ごとに受講者が提出する技術補完研修報告書の審査及びアンケートに基づき評価し、公募時資料及び契約書で機構が設定した「要求水準値」と比較する。要求水準値の達成状況は以下のとおり。

#### 1) スタッフ(民間事業者)の対応

民間事業者及び講師(民間事業者が選定した講師若しくは再委託先の講師)は、技術補完研修の目標達成の観点から、受講者の自主性を損なうことなく、技術、技能、ボランティア適性を高めるために適切な指導をしていたかについて、「常にしていた」、「していた」、「余りしていなかった」、「全くしていなかった」の4段階で、80%以上の受講者から「常にしていた」又は「していた」の評価を得ることを要求水準として設定している。

評価結果は以下のとおりであり、要求水準を満たしている。

##### 平成 25 年度の評価

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
94.3% (97.5%)	94.4% (99.1%)	88.9% (99.4%)	96.2% (100%)	<b>93.4%</b>

##### 平成 26 度の評価

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
95.8% (98.7%)	98.2% (98.6%)	97.9% (100%)	96.6% (99.0%)	<b>97.2%</b>

#### 2) 技術補完研修の評価

研修を通して、要請に対応するための技術や経験を補完することができたかについて、「できた」、「概ねできた」、「あまりできなかった」、「全然できなかった」の4段階で、80%以上の受講者から「できた」、「概ねできた」の評価を得ることを要求水準として設定している。

評価結果は以下のとおりであり、要求水準を満たしている。

##### 平成 25 年度の評価

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
93.7% (97.5%)	93.5% (100%)	94.3% (97.5%)	87.1% (98.4%)	<b>92.2%</b>

##### 平成 26 年度の評価

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	年度平均
91.5% (99.2%)	91.2% (97.5%)	89.7% (97.9%)	93.2% (99.0%)	<b>91.4%</b>

3) 受講者の能力向上

研修を通じ、95%以上の受講者の技術力が向上し、任国でのボランティア活動に必要な適正技術を習得することを要求水準として設定している。

受講者が提出する技術補完研修報告書に対し、各技術分野のアドバイザーとして機構が委嘱する技術専門委員が審査・指導し、また、研修によっては受講者の実技を審査・指導した結果、全受講者が要求水準を満たしている。

4) 受講者の安全衛生

本業務に起因する傷病等は発生しなかった。

5) 業務継続の確保

本業務の不備に起因する業務の遅延等は無かった。

3. 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

民間事業者からの提案により、合同研修においては、受講者の学習力向上や派遣に対する不安解消等を目的とした個別相談を研修の合間（休憩時間、終了時刻後）に実施しており、受講者から評価を得ている。

技術補完研修においては、技術補完研修報告書のフォーマットを変更（エクセル形式からワード形式）することによる執筆側・審査側双方の利便性の向上や、研修実施場所の改善提案（例：体育研修の実施場所を従来の首都圏（神奈川県）にこだわらず、実施体制（講師陣、施設）の整った地方大学へ変更）を行うなど前向きに対応している。

4. 委託経費の比較（文中、表中の金額は全て税抜価格）

前回契約（平成 24 年度）との比較では、人件費ベースで約 5.1 百万円（約 10%）の削減を実現している。民間事業者の業務状況や質に起因せず、主に研修人数の増減に応じて変動する直接費（実費）は、委託経費の比較には用いていない。

（単位は円。全て税抜価格。）

(市場化テスト)	(実施前)	(実施後)			(前後比較)	(削減率)
		A. 平成24年度	B. 平成25年度	C. 平成26年度		
契約における経費内訳					D-A	E/A
人件費	53,429,426	48,284,000	48,284,000	48,284,000	5,145,426	9.6%
直接経費 (実績)	87,160,934	80,079,555	123,535,842	101,807,699	14,646,765	16.8%
全体経費 ( + )	140,590,360	128,363,555	171,819,842	150,091,699	9,501,339	6.8%

なお、平成 25 年度から平成 26 年度に掛けて直接経費（実費）が約 1.5 倍増加（Bの 80,079,555 円 Cの 123,535,842 円）しているのは、対象とする合同研修受講者の外泊数（機構の国内拠点の宿泊可能部屋の利用上の制約から一般ホテルを利用する者の人数）が増

えたことや技術補完研修受講者数が増加したこと等に起因している。

技術補完研修受講者数の増加は、合格者の増加に連動しており、下表のとおり、平成 25 年度における研修受講者( 492 人)から平成 26 年度の研修受講者( 796 人)へ 1.62 倍に増加している。(本契約は、競争対象外の直接経費(実費分)は変動し得ることを前提とする。)

募集期 (長期派遣者向け)	平成24年度 秋募集	平成25年度 春募集	平成25年度 秋募集	平成26年度 春募集	比率 ( )
協力隊応募者数	1205人	1472人	1646人	1612人	1.34倍
合格者数	421人	586人	661人	640人	1.52倍

  

研修実施時期	平成25年度実施分	平成26年度実施分	比率( )
受講者数	492人	796人	1.62倍

## 5. まとめ

### (1) 全体的な評価

合同研修、技術補完研修ともに各項目で高い評価を得ている。総論として、民間事業者は機構の求める要求水準を満たしており、概ね円滑に業務を実施していると評価できる。

### (2) 今後の事業

1) 本事業の市場化テストは今期が1期目であるが、事業全体を通した実施状況は以下のとおりである。

実施期間中、民間事業者が業務改善指示等を受けた事実、業務に係る法令違反行為等を行った実績はない。

ボランティア事業は当機構の中期計画中に位置付けられており、本事業を含むボランティア事業の実施状況については、外務省及び外務省独立行政法人評価アドバイザーに委嘱された外部有識者等によるチェックを受ける体制が整っている。

この市場化テストにおいては3者の応札があった。一定の者が有利となるような入札要件を付しておらず、広く競争性を確保するための環境は整えられている。

対象公共サービスの確保されるべき質に係る達成目標について、目標を達成している。

従来経費からの節減については事業期間において一定の節減効果を上げている。

2) 上述のとおり、本事業については、市場化テストを終了する基準を満たしており、良好な実施結果を得られていることから、今後の事業に当たっては、市場化テストを終了し、機構の責任において行うこととしたい。

3) 市場化テスト終了後においても、これまで官民競争入札等監理委員会における審議を通じて厳密にチェックされてきた公共サービスの質、実施期間、入札参加資格、入札手続及び情報開示に関する事項等を踏まえた上で、引き続き法の趣旨に基づき公共サービスの質の向上、コストの削減等を図る努力をしまいたい。

以上